

未来へ(東中だより)

第12号 令和3年11月17日

吉野ヶ里町立東脊振中学校 校長 森田 直樹

学校教育目標 未来へ

「知性・感性・耐性」を
共に高める生徒の育成



TEL: 0952-52-2529 Fax: 52-8184

<https://www.education.saga.jp/hp/higashishifuri-j/>

小学校や家庭と連携して 学力向上にむけた取組を実施中！

本校は今年度から2年間、佐賀県の「小中連携による学力向上推進地域指定事業」という研究指定を受けています。これまで数年間は「道徳教育」の研究指定などで豊かな心を養うことに焦点化していましたが、さらに「学力」を高めることに傾注することは、全人格的な成長を目指す本校としては、まさに好機です。「鬼に金棒」となすべく、小学校の先生方と協力して研究に取り組んでいます。

具体的には、中学校では「基礎学力の定着と、学習マネジメント力を高める指導方法の工夫」をテーマに、以下のようなことを実践しています。

- ・小中学校の研究授業への相互参加 ・年8回の研究授業
- ・「めあて・まとめ・ふりかえり」の授業づくり ・タブレットPCの効果的な活用
- ・学習の心構えや立腰についての確認 ・学習に関する実態アンケート
- ・夢をかなえる計画表(フォーサイト手帳)の活用 ・自学ノートコンクール
- ・生徒会学習部との連携でドリルパークと月1満点テスト など

生徒の学習に関する現状は楽観視できません。小中学校ともに家庭学習の時間は、県や全国の平均を下回り、逆にゲームやSNSに費やす時間は、県や全国の平均を上回っている状態です。そこで先月、臨時のPTA役員会(学年活動部会)を開催し、学習に関する現状を説明したうえで、PTA活動と連携しての取組を確認しました。それが、11月1日から3週間の「夢をかなえる計画表」の活用です。また、11月の第1週は、ノーテレビ・ノーゲームウィークとして取組を行いました。

「夢をかなえる計画表」は、プランニング手帳のような内容にしており、やるべきこと、起床時間、就寝時間、学習時間、達成状況、ほめポイントなどを記入します。自分を見つめ自分を「マネジメントする力」を高めるためのツールです。1週間を終えた時点で、卓越した活用状況の生徒14名に、「マイスター認定証」を渡しました。次の全校集会では、さらに多くの「自己管理の達人・活用の達人」に認定証を渡したいと思っています。



なかむら住宅様からPTAに寄付

本校出身で、なかむら住宅の社長である中村浩信様から、佐賀銀行を通して、10万円のご寄付を頂きました。

現在は本店を佐賀市内に移されて県内一円で事業を展開されているなかむら住宅様ですが、地元へ恩返しをしたいとの思いで、母校への寄贈をと考えられたとのことです。誠にありがとうございます。 TENT購入の一部にあてさせていただきます。

中学時代は軟式野球部で心技体を鍛えられていた中村社長ですが、社員教育や今後の学校教育について謙虚に、そして熱く語られる姿が印象的でした。



3年進路説明会 11月2日

生徒および保護者を対象とした、令和4年度高等学校入学者選抜に関する説明会を行いました。川口学年主任から進路決定のために大切なこと(①自分を知ること、②高校のことを知ること)を話し、高校入試に向けた手続きについて説明を行いました。最近の入試の変更点やポイントは以下の通りです。



- ・県内5校の私立高校はWEBで出願
- ・私立前期試験は1月20日、後期は2月3日
- ・入学検定料が15000円の高校あり
- ・推薦や専願、奨学生試験は学校により異なる
- ・県立高校の前期は特別選抜試験であり、スポーツ推進指定校と文化芸術推進指定校で実施
- ・特別選抜は2月8日、一般選抜は3月8、9日